

総合質管理(TQM)部ニュース

2025年 10月号 (第27号)



今月は認知症ケア課、スキンケア課です。

認知症ケア課

老人看護専門看護師

福嶺 初美

- ✓ 認知症ケア課は、認知症があっても治療を円滑に受けられることを目的に活動しています。
- ✓ 具体的には、BPSD（認知症の行動・心理症状）やせん妄の発症、コミュニケーション障害がある方に対しても看護ケアの水準を維持しつつ、看護ケアの質（アセスメントする力）の向上を目指して取り組んでいます。

院内デイケア"お昼の会"をはじめましたのでご紹介します

◎目的

- ・認知症患者への専門的なケアを提供する
- ・早期退院に向け、生活リズムを整える

◎実施場所

- ・精神科作業療法室

◎開催日

- ・毎週木曜日 13時30分～15時

DST（認知症サポートチーム）と認知症リンカースで運営します

★午前中★

NS：「お昼から歌にお誘いしていいですか？」
Aさん：「ベッド臥床中、「耳が遠いから歌はすかん！」
.....

★お昼の会★

Aさん：「女学校の時は、壇上へ上がって歌とつたよ」
歌詞カードを見ながら笑顔で歌って過ごされた



2003年頃から院内デイケアに取り組んでいる報告が見受けられる。

現状は.....

2025年老人看護専門看護師及び認知症看護認定看護師が勤務する医療機関1,101病院を対象のWeb調査では、38カ所（14%）の医療機関で実施されていた。
2025年老年看護学会学術集会より

スキンケア課

皮膚・排泄ケア
特定認定看護師

横山絵麻

- 皮膚・排泄ケア認定看護師は、創傷やストーマ、失禁に関する専門知識と技術を持ち、患者の健康回復や生活の質の維持向上を支援する役割を担います。
- 具体的な活動内容は、患者への直接的なケアの提供、医師や他の看護師からの相談対応、ケア方法の指導、教育、多職種との連携があります。

今回は、看護補助者研修についてご紹介します

今年度、看護補助者（日本41名、中国17名、ミャンマー15名）に対し、7月・8月の2か月に渡り、「移動・移送研修」「おむつ研修」を行いました。その様子をお届けします

移動・移送研修

ストレッチャーや車椅子への移動や移送の際の注意事項、ベッドに臥床している患者への体位変換・ポジショニング、ベッドの頭側挙上などの体験を行いました。

「ストレッチャーで移動する時の患者さんの恐怖感」「クッションが正しい方法で使用されると安定感が変わり安楽に過ごすことができること」「頭側挙上後に背抜きを行わない場合、食事量にも影響すること」など様々な学びを深めていました。

ポジショニングの3つのキーワード

- ①面積
クッションとたくさんの面積に触れさせることで身体にかかる圧力が軽減される。
- ②支える
しっかりと支えることで、身体が安定し筋緊張の緩和にもつながる
- ③なじませる
身体を上から押すことでクッションと体なじみ安楽な姿勢におちつく



おむつ研修

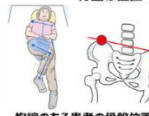
おむつ研修では、白十字株式会社さんの協力のもと、排泄のメカニズムやおむつの構造を実際にモデルを用いて目で確認しながら学習しました。また、実際におむつを装着して履き心地などを確認しました。

テープ止めタイプ

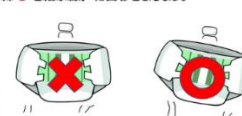
おむつの当てる位置のポイントは骨盤の位置

拘縮のある患者は、骨盤位置が左右対称ではありません。

ベッドに平行におむつを置くと大腿部に隙間があり、尿漏れをきたしてしまいます。おむつを患者に対して平行におくのではなく、骨盤の位置（上前腸骨棘を結ぶ線）に合わせましょう。



拘縮のある患者の骨盤位置



研修の一コマです。実用的な内容で研修を行いました。

